

平成元年度総会へのいざない

— 5月14日 母校農学校舎で —

三翠化学会

(題字は稲川先生)

第30号
平成元年3月31日発行
三翠化学会
津市上浜町1515
三重大学農芸化学科内
電話/津(0592)32-1211
振替/名古屋9-59345
印刷/株式会社あるむ
TEL(052)332-0861大8長谷川正一

熊澤学部長の講演

「生物資源学と農芸化学」や クラス対抗きき酒会も

平成元年度の三翠化学会総会を来る五月十四日の日曜日に母校三重大学の農学校舎大講義室で開催します。

当日は、恩師熊澤生物資源学部長先生のご講演「生物資源学と農芸化学」を拝聴します。

このご講演で、私達が農学部で学んだ農芸化学と、生物資源学部乃至は新しい生物資源学のなかの農芸化学について、くわしく解説して下さい。

また、懇親会では、クラス対抗きき酒会を開きたいと思っています。此の会は、三重県工業

技術センターの同窓生のお世話になって開きます。

会員の皆さん、お誘い合わせのうえ、是非、総会と懇親会にご出席下さい。また、これを機にだけなら幸甚です。

どうか、多数の方々のご参加をお願い致します。

記

三翠化学会総会ご案内

一、日時 平成元年五月十四日 午前十時三十分より

二、総会会場 三重大学生物資源学部農学校舎大講義室

一、懇親会会場 三重大学学生会堂(生協)

二、会費 三千五百円

三、懇親会費

なお、懇親会の余興として、懇親きき酒会を開きます。

このきき酒会は三名一チームのクラス対抗とし、ペアのお連れのない方で出場希望の方々も出場して頂けるように手配致します。また、賞品も、多数、用意致します。ご健闘ください。

なお、整理の都合上、出欠のご返事を同封のハガキにて4月25日(水)までにお知らせ下さい。

今春卒業・修了予定者の 就職先などについて

卒業生のクラス担任

田口 寛

今年3月に、農芸化学関係として、学部卒業生29名、大学院修了生7名が予定されており、なお、当大学院を昨年修了し、研究生をしていた研究生も2名、この春社会へ出ます。

それぞれの就職先などを、ここにまとめておきますので、諸先輩の皆様よろしくご指導、ご鞭撻のほどお願いします。特に同じ会社に入るとか、近くに就職するといった場合には、格別のご配慮を切望します。

氏名、就職先(株式会社は省略して記載)、勤務予定地(未定の場合は無記入)の順にまとめてあります。なお、大学院進学者の進学先は、すべて本学です。

【学部卒業生】

石川 健一 大学院進学	笹沼 哲二 山崎製パン
井上 尊徳 大学院進学	柴田 時美 住友電装、四日市
伊場田 泉 大学院進学	鳴貴 徹 名古屋市職員
井村 太 大学院進学	清水 恵介 大学院進学
井本 洋介 敷島製パン、犬山市	杉浦 洋一 ポッカコーポレーション
上村 真澄 太陽化学	杉本 恭子 日本電信電話
植村 祐光 和歌山県中央医療生活共同組合、和歌山市	垂谷 尚 フジパン
浦田佳世子 住友電装、四日市	寺西 秀美 滋賀県農業協同組合中央会、大津市
大河内 浩 大学院進学	長坂 幸恵 フジパン
小村 大輔 大学院進学	西村 篤寿 大学院進学
加藤 広美 太陽化学	伴 善則 サンエイ糖化、知多市
久世 晃代 トミー産業、名古屋	藤木 功二 キューピー、東京
小嶋 裕三 大学院進学	森 志奈子 三菱油化、四日市
近藤 圭一 大学院進学	山中 直人 市か関東地方 大学院進学
今野 隆道 大学院進学	

石原 則幸 太陽化学、四日市	市川 博隆 三重県職員、三重県内
木藤新一郎 ポーラ化粧品本舗	楠谷 仁 中笠酢店、半田市
鈴木 啓二 三重県教職(農業高校)、三重県内	長嶋一孝 味の素、川崎市
三宅 義明 ポッカコーポレーション	扇田 哲男 農林水産省横浜植
西谷 弘 テルモ	

【研究生修了者】

扇田 哲男 農林水産省横浜植

物防疫所

以上総計38名の諸君が、今春社会へ出ますのでどうぞよろしく。

母校訪問

●大2クラス会



青空の澄みわたった十一月十三日、午前十一時に母校正門前へ集合する。集まった顔ぶれは木根、小林、後藤、嶋林、竹村、橋本(忠)、服部、深尾、山野、藪本の十氏である。

皆揃った所で、嶋林氏から、三重大学生物資源学部の内容と、上浜キャンパス全般の施設や新校舎建設予定地の説明を受ける。それから農学校舎1号館に入り、生物化学嶋林研究室と隣の生理活性化学研究室を見学、コンピューター関係の装置と本の多さに驚き、隣の室で日曜にかかわらず実験に励む西川教官の研究に声援をおくる。

外に出て、三翠寮跡、旧農場の初耕記念樹、三翠会館と庭園をみて回り、正午すぎ、所用のある後藤氏と別れて宴会場のグリーンホテルへ向かう。

会場では、滝先生と奈良先生をお迎えし、直接会場へくる滝田氏を待つて、宴会を始めた。

先ず、幹事深尾氏の挨拶と乾杯の音頭が始まり、両先生のお言葉を頂いた。

滝先生からは、適量の酒とタバコで節制する健康の教えを、奈良先生は、スペイン語の勉強を、ビデオで、スペイン音楽や風景を楽しみながら勉強する楽しみを、いずれも話された。

続いて、それぞれの近況を報告しあった。

卒業以来三十年ぶりでクラス会に出席した山野氏、大阪府警察科学捜査研究所で初めての文官所長をこの春定年退職した氏の話に皆引き込まれた。フィリピン発タイ航空機の手榴弾暴発事件、グニコ社長誘拐脅迫事件

などの科学捜査の話に、持つ酒杯の手を忘れさせた。

杯の顔だけはみに来ると言う中島氏を待ちつつ話が弾む。

来年は湯の山で開き、卒業三十五周年を記念してカオリヒバを母校の庭に植えることを決めてクラス会を閉じた。

(深尾・小林)

『二十周年クラス会』

〈16回生養老に集う〉

昭和43年卒の我々も、社会に出て早や20年の歳月が過ぎたことになり、盛大なクラス会をと考えていたが、幹事の怠慢もあり、計画が遅れ、又時あたかも前降下の御病氣と重なり、少々自粛気味であったとは云え、10月15日、夕開せまる養老の山荘

に14名のなつかしい顔が集まった。

先生方は我々の担任教官であられた北岸先生をはじめ奈良先生、嶋林先生、嶋田先生、そして友情参加として小畑先生(大15)に御出席していただいた。会は先生方のごあいさつ、5年

振りの再会を祝い乾杯の後に宴に入った。

北岸先生が初めて当大学に赴任されてすぐ津公園の夜桜コンパにいらしていただき、何んて野蠻なクラスと思われたこと。前半松阪迄は、5位以内で折り返しながら、ゴールではいつもどおりだった。毎月必ず飲み会をやっていたこと等々なつかしい話に花が咲き、そして仕事のこと、趣味のこと、子供のことが話はずみ、年のせいでの酒の量が減ったと云いながら、見る間に空になってゆくボトルに時の経つのを忘れた。



ただ今回のクラス会のメインイベントであった学生時代の成績の公開は、種々の都合で出来ず、次回迄の検討事項とした。

翌日は養老の滝迄の山道を歩き、次回の幹事に大北、島村を選び、昼に2年後の再会を期して散会した。

なお、今回、参加の諸氏は次の通りであった。池山、市川、大北、奥野、大河内、坂井、酒井、榊原、島村、高橋、中川、村田、杉崎(2名)

(杉崎 記)

追記

又、本クラス会に参加出来なかった堀内の為、酒井、奥野、杉崎で9月に、住吉、山城の為に酒井、市川、村田、杉崎で11月に小クラス会を開いた。

